

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	温熱感小委員会		主 査 名：都築 和代 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：須永 修通
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの温熱感研究を踏まえ、本領域の今後の発展と展望の模索</li> <li>・最新研究のレビュー、シンポジウムの企画・開催と適切な情報発信</li> <li>・学術規準の作成と刊行</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：都築和代 (産業技術総合研究所) 幹事：高田暁 (神戸大学)、山岸明浩 (信州大学) 委員：斎藤輝幸 (名古屋大学)、梶井宏修 (近畿大学)、久野 覚 (名古屋大学)、 松原齋樹 (京都府立大学)、土川忠浩 (兵庫県立大学)、横山真太郎 (北海道大学)、 宮本征一 (摂南大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	現状分析情報発信 WG (温熱感に関連する資料を収集・分析し、最近の研究動向を把握するための研究会開催に向けた検討を行う) 温熱快適適域検討 WG (温熱的快適域に関する論文や標準などの基礎資料を整理し、取りまとめ、シンポジウムや研究会を開催する) 温熱環境学術規準 WG (温熱環境学術規準、生理・心理測定法の作成)		
2013 年度予算	173,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 日本建築学会環境基準 AIJES-H0004-2013 温熱心理・生理測定法規準
講習会	1. 講習会「温熱心理・生理測定法規準」 2014 年 3 月 3 日 参加者数 65 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業 委員会承認企画	1. 第 43 回熱シンポジウム「居住環境における寒さと健康・快適」 参加者数 102 名 (第 43 回熱シンポジウム「居住環境における寒さと健康・快適」)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 温熱心理・生理測定法規準
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の活動計画通りに遂行することができた。 2. 第 43 回熱シンポジウムの開催、資料集の作成等を遂行することができた。 3. 日本建築学会環境基準 AIJES-H0004-2013 温熱心理・生理測定法規準を発行することができた。
委員会活動の問題点・課題	特になし

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。
- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

## 20 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	計画通りに活動を遂行することができた。			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。